

蒲生干潟周辺の塩分濃度④⑥

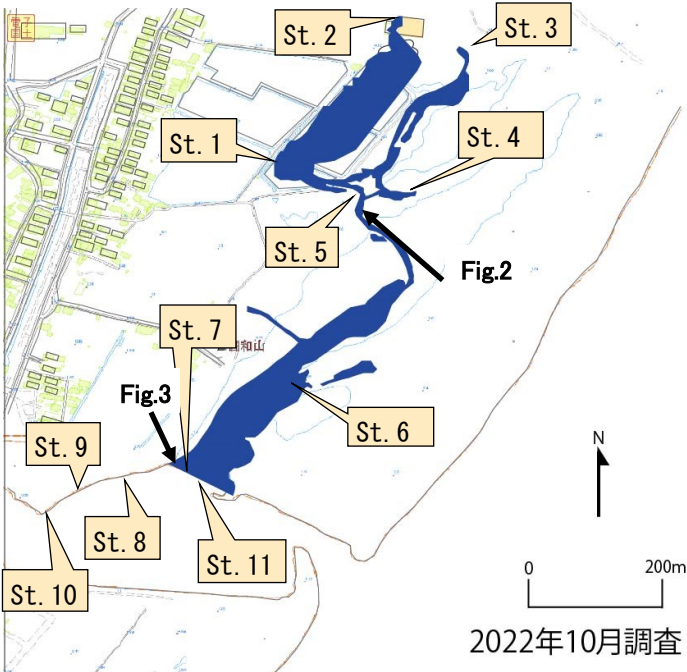


Fig.1 2022/10/20 採水点

Table.1 2022. 10月 塩分濃度(%)

採水点	2022 10/20	2022 9/15	増減	2021 9/15 昨年	増減
St. 1	2.4	2.8	-0.4	1.9	0.5
St. 2	0.7	2.2	-1.5	1.6	-0.8
St. 3	1.6	2.1	-0.5	1.1	0.5
St. 4	2.4	3.1	-0.7	1.8	0.6
St. 5	2.9	3.1	-0.2	1.9	1.0
St. 6	2.8	3.0	-0.2	1.6	1.2
St. 7	2.8	3.2	-0.4	2.7	0.1
St. 8	1.2	3.1	-1.9	1.5	-0.3
St. 9	1.2	3.0	-1.8	1.6	-0.4
St. 10	1.0	0.9	0.1	1.5	-0.5
St. 11	3.4	1.2	2.2	3.5	-0.1

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 St.3付近の様子



Fig.3 St.6付近の様子

調査日時：2022年10月20日(木)10:00~11:30, 天気:晴れ, 干潮時刻 5:54 (潮位54cm) 満潮時刻 13:47 (潮位125cm)

 干潮後の時間帯での調査。Fig. 1に示す採水点St. 1~St. 11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った(過去レポート参照)。それぞれの結果を2022. 10月塩分濃度(%)としてTable. 1に記載し, 前回までの調査(2022. 9月, 2021. 10月)結果と比較した。

干潟全体の水量は非常に少なかった。10:30頃のSt. 5では南潟湖に向かう水流が見られた(Fig. 2)。その後10:50頃のSt. 7では河口から南潟湖への水の流入が見られた(Fig. 3)。全体として南潟湖への水の流れを確認できた。塩分濃度は, 干潟中央付近St. 4~7で, 全体的に高めで安定している。河口のSt. 10の濃度と比較しても, 干潟内の塩分濃度はこれまでの年平均に近い値で安定した数値を示した。

(沼尾和弥)